	貸付事業費		—		—		—		4,494,110		—		4,494,110
	その他業務費		345,422,413		880,405,038		1,210,720,550		22,286,122		—		2,458,834,123
	一般管理費		107,450,508		256,131,207		260,154,570		25,946,667		—		649,682,952
	財務費用		—		—		1,826,003,325		19,813,245	△	19,813,245		1,826,003,325
	雑損		—		186,185,000		3,710,483		—		—		189,895,483
	臨時損失		7,595		21,058		30,459		3,048		—		62,160
	（控除）自己収入等												
	保険料収入		—	△	13,527,334,780		—		—		—	△	13,527,334,780
	運用収益	△	1,826,199,589	△	12,842,618,719		—		—		—	△	14,668,818,308
	農地等割賦利息収入		—		—		—	△	1,730,629		—	△	1,730,629
	貸付金利息収入		—		—	△	19,813,245	△	16,122,623		19,813,245	△	16,122,623
	雑益	△	1,860,482	△	5,202,351	△	72,648,561	△	343,930		—	△	80,055,324
	臨時利益		—		—	△	1,318,954		—		—	△	1,318,954
	業務費用合計		1,463,458,762		1,131,954,932		120,868,737,503		54,346,010		—		123,518,497,207
Ⅱ	引当外賞与見積額		1,076,883		3,166,612		2,341,402		5,371		—		6,590,268
Ⅲ	引当外退職給付増加見積額	△	8,557,000	△	21,221,000	△	19,163,000	△	2,268,740		—	△	51,209,740
Ⅳ	（控除）法人税等及び国庫納付額	△	4,450		—		—		—		—	△	4,450
Ⅴ	行政サービス実施コスト		1,455,974,195		1,113,900,544		120,851,915,905		52,082,641		—		123,473,873,285

㈱　国民一人当たりの行政サービス実施コスト　964.2円
※平成22年国勢調査の確定人口　128,057,352人（平成23年10月27日官報告示）を用いて算出しております。

利益の処分及び損失の処理に関する明細

（単位：円）

	特例付加年金勘定	農業者老齢年金等勘定	旧 年 金 勘 定	農地売買貸借等勘定	合　　計
Ⅰ　当期未処分利益（当期未処理損失（△））	△ 11,945,797	4,602,371	140,007,078	△ 6,110,173	126,553,479
当期総利益（当期総損失（△））	△ 11,945,797	4,602,371	140,007,078	△ 6,110,173	126,553,479
前期繰越欠損金	—	—	—	—	—
Ⅱ　利益処分額	—	4,602,371	140,007,078	—	144,609,449
積立金	—	4,602,371	140,007,078	—	144,609,449
前中期目標期間繰越積立金	—	—	—	—	—
Ⅲ　次期繰越欠損金	11,945,797	—	—	6,110,173	18,055,970

重要な会計方針及び注記事項

（重要な会計方針）

1　運営費交付金収益の計上基準

費用進行基準を採用しております。

これは、中期計画及びこれを具体化する年度計画等において、業務の実施と運営費交付金との対応関係が示されていないため、業務達成基準又は期間進行基準を採用することが困難であり、費用進行基準を採用する必要があるためです。

2　減価償却の会計処理方法

⑴　有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

建物　　3～18年

工具器具備品　　2～15年

⑵　無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、ソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（5年）に基づいて計上しております。

3　退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準

退職一時金については、運営費交付金により財源措置がなされるため、退職給付に係る引当金は計上しておりません。